

# 決算補足資料(2023年3月期)

2023年5月9日 / 株式会社 シグマクシス・ホールディングス (証券コード:6088)



# 2023年3月期 決算概況

- 堅調な連結業績で連結売上高173.3億円、経常利益32.6億円。
- コンサルティング事業:産業別では金融、商社、運輸、通信、流通、製造を中心とした顧客企業のトランスフォーメーションを支援するプロジェクトが事業を牽引。売上は前年同期比12%増。
- 投資事業:2022年9月に投資先のeWeLLとプログリット、3月にモンスターラボホールディングスが新規上場。また2023年3月にはウェルネス・コミュニケーションズの株式を全て売却。累計投資残高は約22億円(評価差額を含む)。

単位:百万円	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期 増減率
連結売上高	15,654	17,334	+11%
(コンサルティング事業)	15,470 (※)	17,259 (※)	+12%
(投資事業)	334 (※)	167 (※)	▲50%
経常利益	2,764	3,265	+18%
(経常利益率)	18%	19%	
当期純利益	1,664	2,204	+32%
自己資本比率	70%	75%	

※ セグメント間の内部売上高等含む。

## 2023年3月期 連結業績予想と実績／年間配当金

単位:百万円	2023年3月期 実績	2023年3月期 連結業績予想	達成率
売上高	17,334	17,200	101%
営業利益	3,235	3,180	102%
経常利益	3,265	3,180	103%
親会社株主に帰属する当 期純利益	2,204	2,000	110%

- 2023年3月期年間配当金: 1株当たり16円 (予想 15円)

# 2023年3月期 連結損益計算書

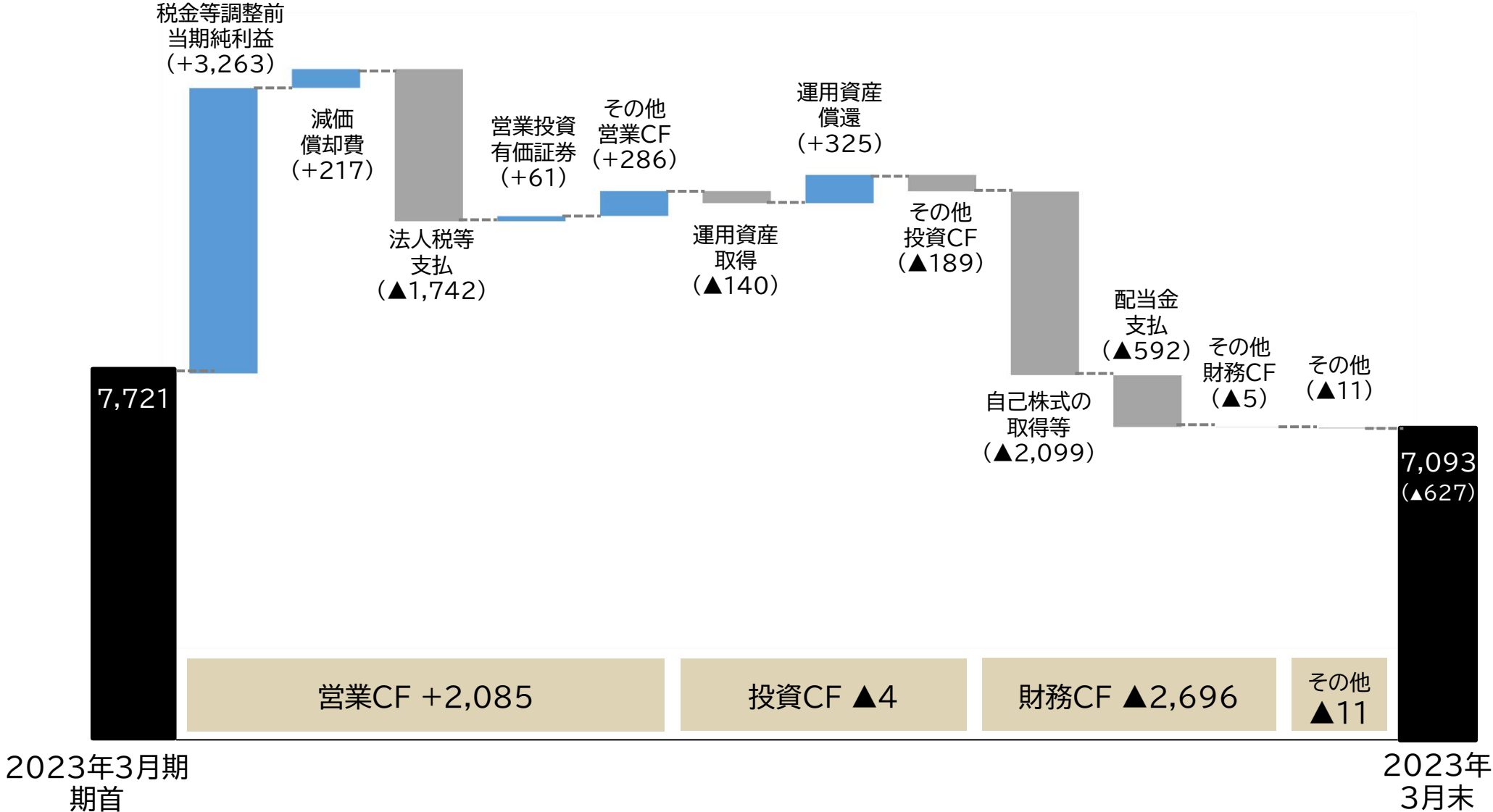
単位:百万円	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	15,654	17,334	+1,679	+11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高の増加により増加</li> <li>対面活動の正常化に伴う諸経費の増加</li> <li>採用費の増加</li> </ul>
売上原価	8,408	8,960	+551	+7%	
売上総利益	7,246	8,374	+1,128	+16%	
販管費	4,486	5,138	+652	+15%	
営業利益	2,759	3,235	+475	+17%	
経常利益	2,764	3,265	+500	+18%	
税金等調整前 当期純利益	2,753	3,263	+509	+19%	
当期純利益	1,664	2,204	+539	+32%	
包括利益	1,672	2,516	+843	+50%	

## 2023年3月期 連結貸借対照表

単位:百万円	2022年 3月期末	2023年 3月期末	対前期末	主な増減
流動資産	12,147	12,013	▲133	・現金及び預金の減少、営業投資有価証券の増加
現金及び預金	7,721	7,093	▲627	・配当の支払い等
固定資産	2,509	2,447	▲61	
資産合計	14,656	14,461	▲195	
流動負債	2,764	1,978	▲786	・未払金、未払法人税等の減少
固定負債	1,589	1,605	+15	
負債合計	4,354	3,583	▲771	・借入金無し
純資産	10,302	10,878	+575	
自己資本比率	70%	75%		

# 連結キャッシュフローの推移

(単位:百万円)



## 2023年3月期 セグメント別業績 概況

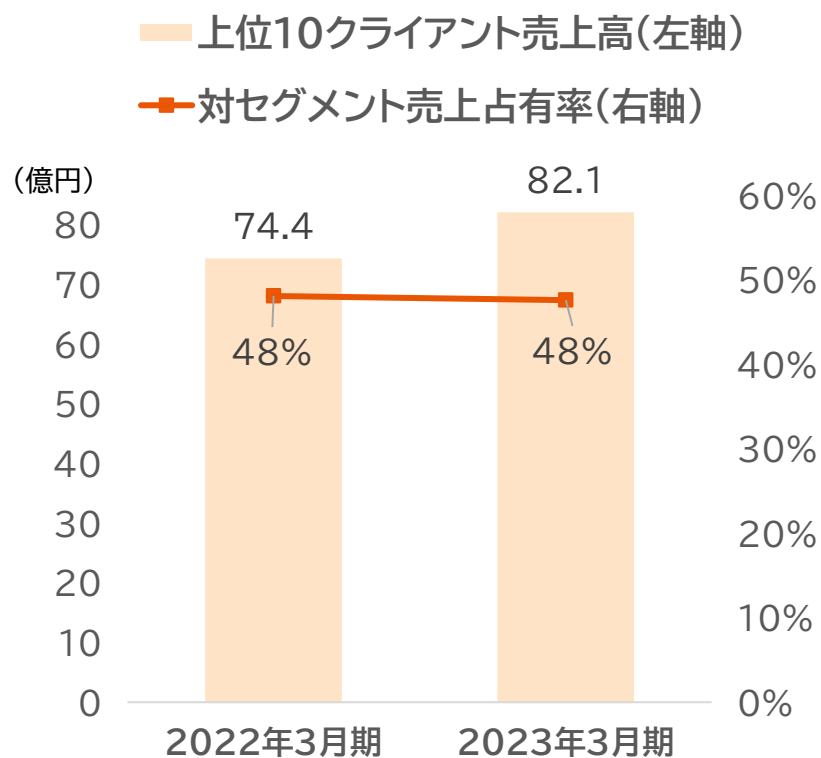
単位:百万円	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	15,654	17,334	+1,679	+11%
（コンサルティング事業）	15,470	17,259	+1,789	+12%
（投資事業）	334	167	▲167	▲50%
（内部取引）	▲150	▲92	+57	—
セグメント利益	4,425	4,901	+476	+11%
（コンサルティング事業）	4,380	5,032	+652	+15%
（投資事業）	45	▲130	▲176	—
売上高セグメント利益率 <sup>(※)</sup>	28%	28%	—	—
（コンサルティング事業）	28%	29%	—	—
（投資事業）	14%	—	—	—

(※)売上高セグメント利益率は売上高にセグメント間の内部売上高等を含んで算出。

# (参考)セグメント情報

コンサルティング事業は産業別では金融、商社、運輸、通信、流通、製造を中心としたクライアントを中心に売上高が拡大。投資事業はウェルネス・コミュニケーションズの株式を全て売却し、評価差額を含む投資残高が約22億円に。

## コンサルティング事業



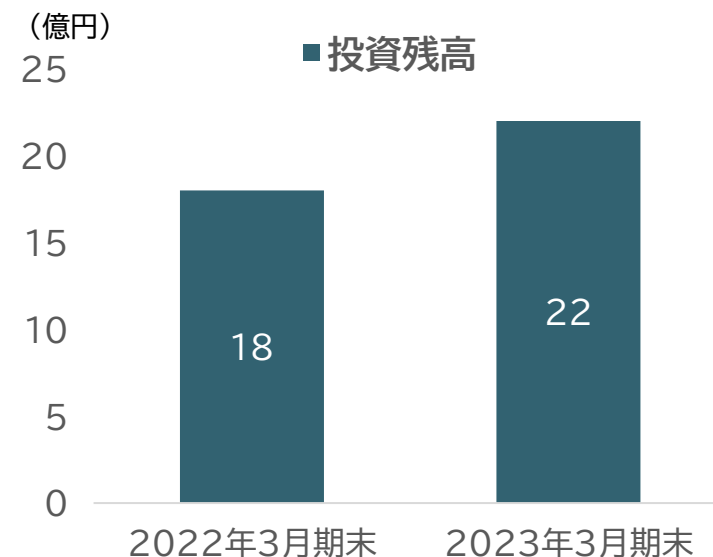
(参考)  
 (株)シグマキシスのプロジェクト数、クライアント数、契約あたり売上

	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期比
プロジェクト数*	929	1,035	+11%
クライアント数**	164	168	+2%
契約あたり売上 (百万円)	16.1	16.4	+2%

全ての数値はSXA・SXFを除いて集計 (2022年3月期の数値も遡及して再集計)しています。

\*プロジェクト数:連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトを契約単位で集計。  
 \*\*クライアント数:連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトのクライアントを法人単位で名寄せして集計。

## 投資事業



- 投資残高 約22億円
- 新規投資 3件
- 投資先新規上場 3件
- EXIT 1件 (ウェルネス・コミュニケーションズ)



# 国内線運賃刷新プロジェクト

日本航空株式会社様の「国内線運賃刷新プロジェクト」の取り組みに、プログラム・マネジメント・オフィスとして参画。

同社の国内線運賃のシンプル化を図り、利用客の利便性と、レベニューマネジメントにおける需要予測の精度を向上。2022年5月より新運賃での国内線チケット販売を開始した。また収入管理業務およびシステムのグローバルスタンダード化も図り、生産性向上とシステムコスト削減を実現。

シグマクシスは、本取り組みの戦略・構想策定から実行まで、運賃改定・ウェブ刷新・収入管理の各領域を横断する体制で支援。計画通りのサービス開始し、同社の中期計画の実現に貢献した。



**JAPAN AIRLINES**

<参考リンク>

・JALグループ、国内線運賃(2023年4月12日以降搭乗分)を全面リニューアル <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000633.000030684.html>

## 法人向けDX人材育成プログラムの開発支援

オンライン動画学習を中心に、テクノロジーによる学び体験を提供している株式会社ドコモgacco様は、2023年2月、法人向け学習プラットフォーム「gacco for Biz」の新たなコンテンツとしてDX人材育成プログラムの提供を開始。100以上のDX人材育成向け学習コンテンツを、職種・知識レベル別に的確に組み合わせたラインアップで提供。

シグマクシスは本取り組みにおいて、国内外の教育関連市場の幅広いリサーチとビジネス機会の検討、同社事業の差別化および成長戦略の策定を支援。サービスの実装にあたっては、DX人材育成プログラムの構想、学習ラインアップの設計、学習コンテンツ提供パートナーのソーシングおよびマッチング、コンテンツの展開、法人顧客獲得にむけたプロモーション施策の実行など、一気通貫で同社に併走し支援。



実用的なDX講座ニーズを顧客インサイトから発掘



戦略策定からリリースまで徹底的に伴走



社内外のネットワークをフル活用して実現

### <参考リンク>

・ドコモgacco様 DX人材育成プログラム <https://gacco.org/biz/dx/>

・NTTドコモ系、DX人材育成の講座提供 職種で選びやすく(2023/2/3 日本経済新聞電子版) <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO68133840S3A200C2TB2000/>

## 「培養肉未来創造コンソーシアム」を設立

大阪大学大学院工学研究科、株式会社島津製作所、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社シグマクシスの5社が2023年3月に「培養肉未来創造コンソーシアム」を設立。

本コンソーシアムは、「3Dバイオプリントによる食用培養肉製造技術に関する社会実装の具体的な取り組み」を目的としており、企業を超えた協業により「3Dバイオプリント技術の応用開発」「生産・流通までの一貫したバリューチェーンの確立」「省庁や民間企業との連携による法規制整備への貢献」を進める。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)での展示などを通じた情報発信で、世界に先駆けての培養肉食用化の実現を目指す。



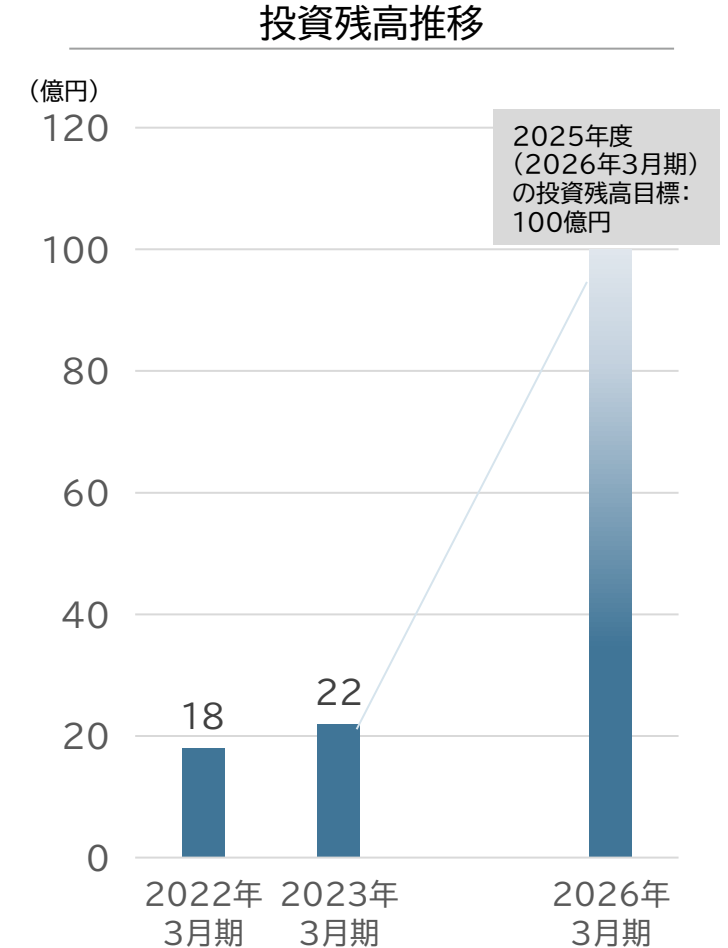
<プレスリリース>

- 大阪大学・島津製作所・伊藤ハム米久・凸版印刷・シグマクシスが「培養肉未来創造コンソーシアム」を設立 研究推進拠点を大阪大学に設置  
[https://www.sigmaxyz.com/news/release\\_20230329/](https://www.sigmaxyz.com/news/release_20230329/)

# 投資先企業一覧

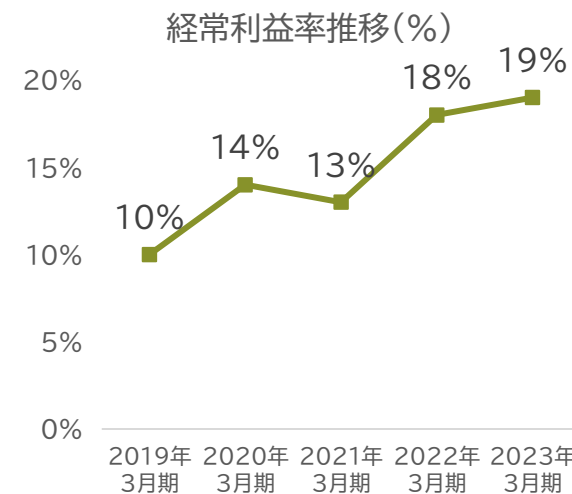
- 投資事業は、複数の産業を横断したリジェネラティブ&ウェルビーイング領域を中心に投資。また、投資先に対して、コンサルティングによるバリューアップ支援で企業価値向上をサポート。
- 2023年3月末時点の累計投資残高は約22億円(評価差額を含む)。

出資年	社名	事業内容	備考
2018	ギリア株式会社	AIソリューション	
2019	Creww株式会社	スタートアップコミュニティ運営	
	株式会社モンスターラボホールディングス (東証グロース市場 5255)	デジタルコンサルティング事業 ソフトウェア開発	2023年3月 新規上場
2021	ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社	企業・健康保険組合向け健診ソリューション事業、健康管理SaaS事業	2023年3月 全株式売却
	株式会社プログリット (東証グロース市場 9560)	英語力向上コーチングサービス / サブスクリプション型英語学習サービス	2022年9月 新規上場 2023年4月 全株式売却
2022	自然電力株式会社	国内外での太陽光・風力・小水力等の再生可能エネルギー発電事業等	
	株式会社eWeLL (東証グロース市場 5038)	訪問看護専用電子カルテの業務支援 SaaSの開発・提供	2022年9月 新規上場
	フォレストエナジー株式会社	地産地消型の木質バイオマス発電事業	
	株式会社メンタルヘルステクノロジーズ (東証グロース市場 9218)	企業の従業員健康管理に関する各種サービス	
	株式会社ドラEVER	インターネットを利用した運送会社サポートサービスの提供	



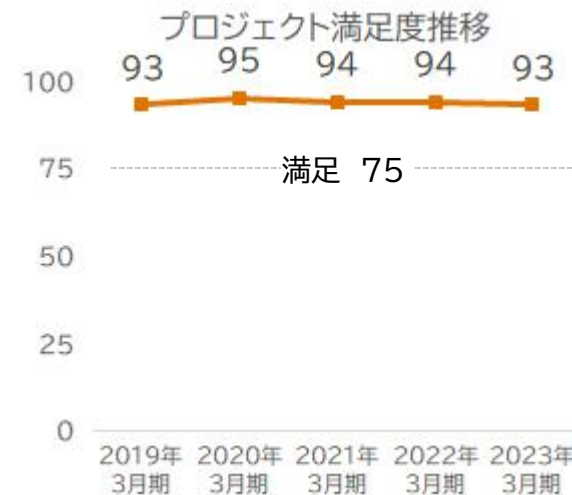
# 重要業績評価指標(KPI)

	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期比
連結売上高 経常利益率	18%	19%	+1%



コンサルティング事業

	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期比
コンサルタント数	478	511	+7%
プロジェクト 満足度(NSI*)	94	93	-1pt



投資事業

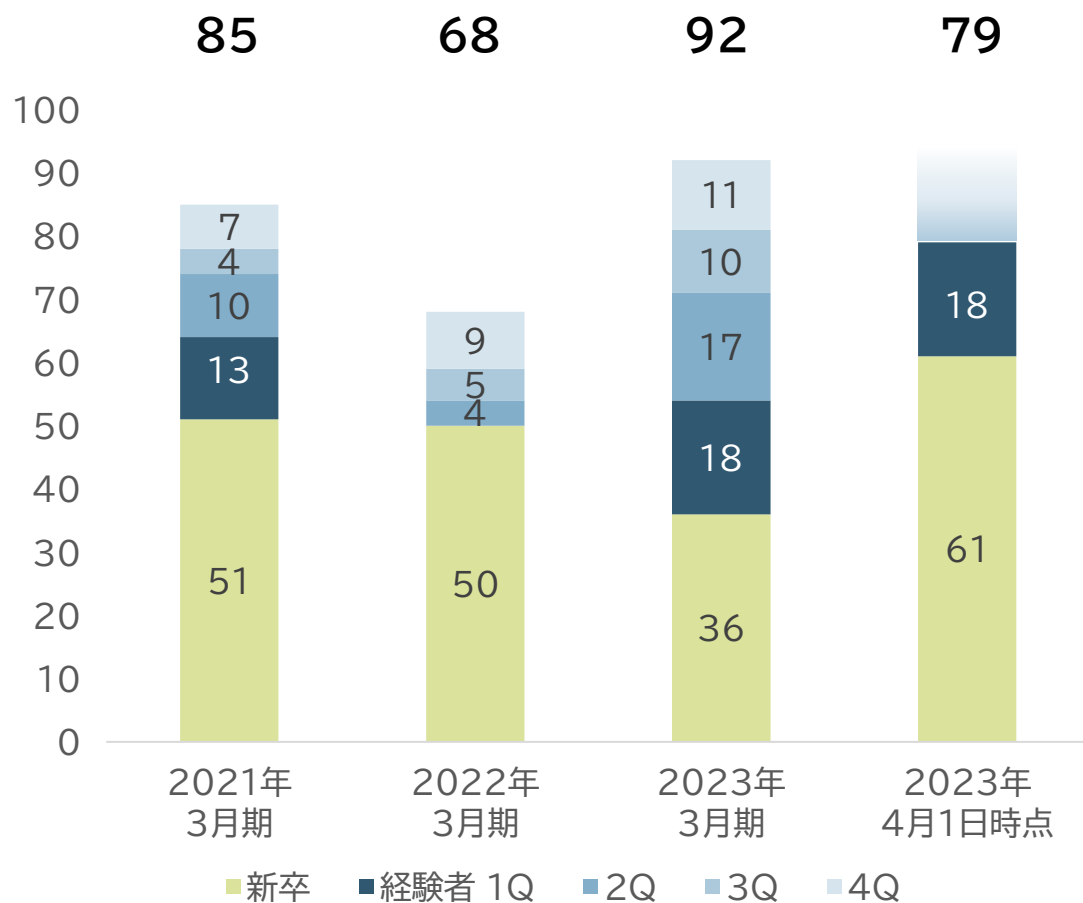
	2022年3月期末	2023年3月期末	増減
投資残高	約18億円	約22億円	+約4億円

\* NSI(Net Satisfaction Index):プロジェクト満足度評価の各設問五段階評価結果の平均点。クライアントのプロジェクトオーナーにアンケート形式で実施。五段階評価は、5:大満足 100点、4:満足 75点、3:どちらとも言えない 50点、2:不満 25点、1:大不満 0点で配点。

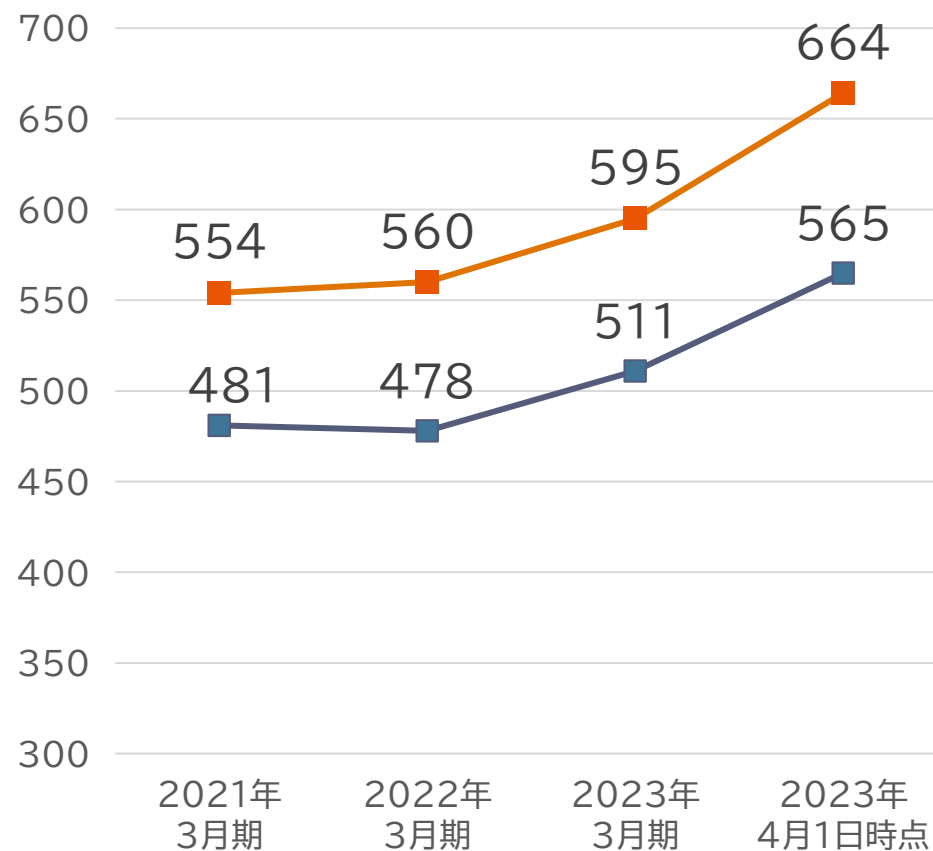
# 採用活動

2023年4月に経験者18名、新卒61名が入社。2024年4月の新卒入社60名程度に向けて内定者数は計画に沿って積みあがっており、経験者とあわせて採用活動は順調に進捗。

年間採用人数(コンサルタント) 単位:人



グループ社員数(■)・コンサルタント数(■) 単位:人

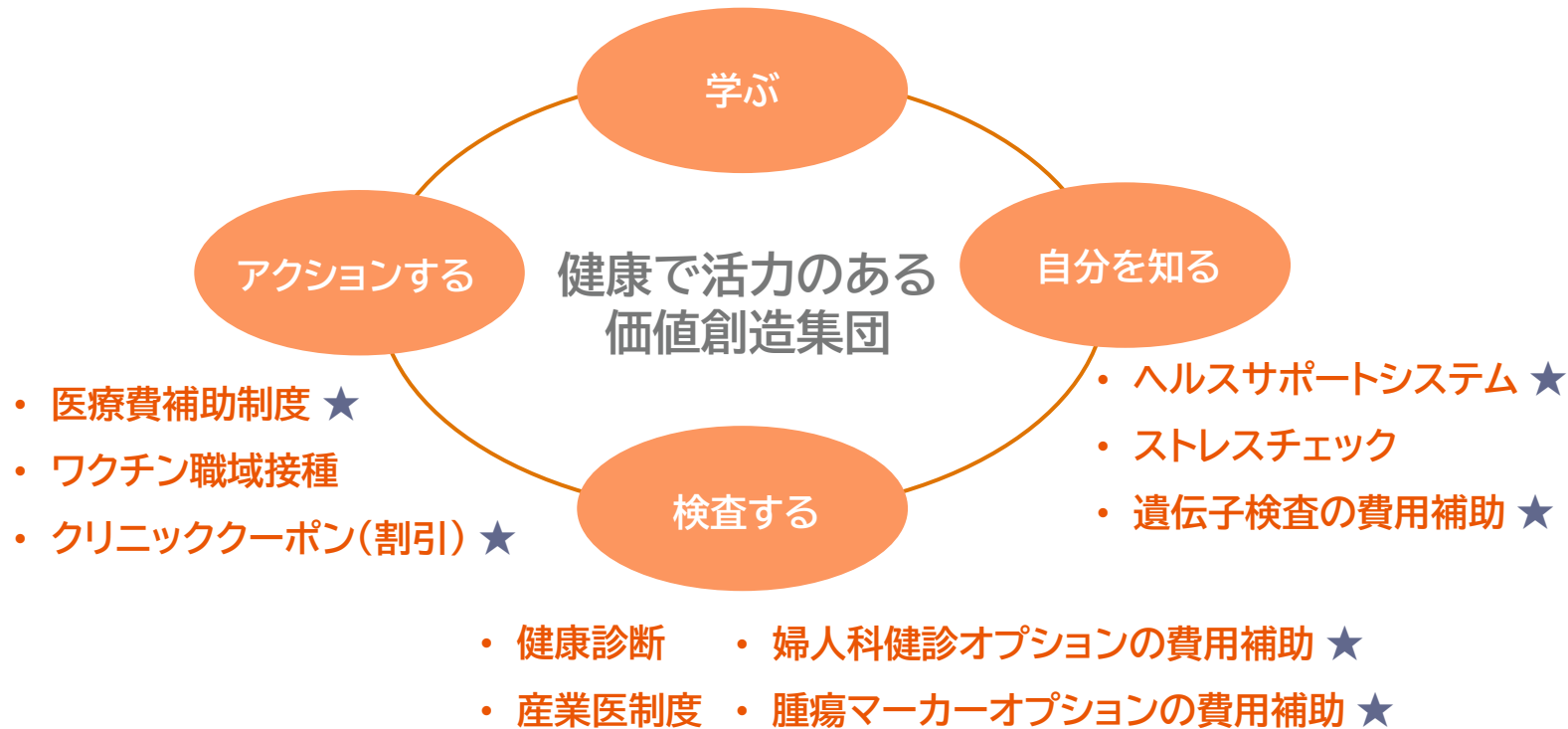


# 社員の健康管理プログラム

組織の成長の源泉である『人財』を最も重要な経営資源と位置づけ、多様な人財がモチベーション高く能力を発揮し、持続的に成長しながら、自分らしく、いきいきと価値創造に取り組める環境の実現を目指している。

2023年3月期に社員の健康管理プログラムを拡充した。

## ・ 健康セミナー／健康情報提供 ★



## 働く環境の整備

- フレキシブルな働き方
- 時間外労働時間の管理
- 年次有給休暇(5日間以上)取得促進
- デジタル&モバイルワークプレイス
- 休養室の設置
- 感染症対策・罹患者の対応サポート  
(PCR検査・抗原検査費用負担/オフィスの消毒/衛生用品配布等)

★=拡充プログラム

## 2024年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 連結業績予想	対前期実績 増減率
売上高	17,334	19,200	+11%
営業利益	3,235	3,850	+19%
経常利益	3,265	3,850	+18%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,204	2,700	+22%

- 価値共創のための構想提案を実施し、企業のトランスフォーメーション(『3つの変革』)の支援、複数企業間連携による新規事業立ち上げやビジネス機能の共有化支援、ベンチャー企業への投資と事業支援などを推進。
- コンサルティング事業:事業成長のために必要なコンサルタント能力(スキル×人数)の拡充を継続。
- 投資事業:特にエネルギーやヘルスケア分野において、20億から30億円程度の新規投資を計画。過去の投資案件から収益獲得。

(注)連結業績見通しにおいて、投資事業はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなる可能性があります。現時点で把握可能な情報に基づき業績予想を行っております。



# 配当方針

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。

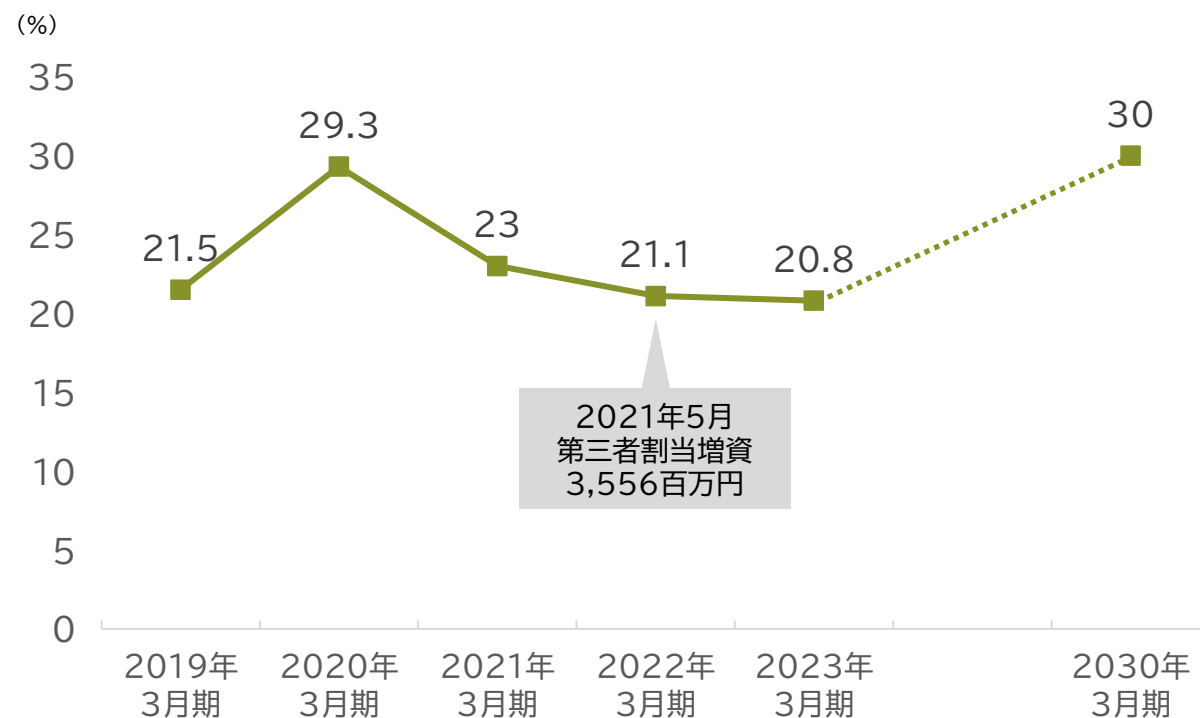
	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	対前期増減
年間配当金／一株当たり	16円	20円	+4円

(注)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

## (参考) 資本効率性、株主還元

- 当社取締役会は資本収益性としてROEを経営の重要指標と認識しており、2030年3月期までに30%への引き上げを目指す
- 株主還元は安定した配当と自社株買いにより実施する

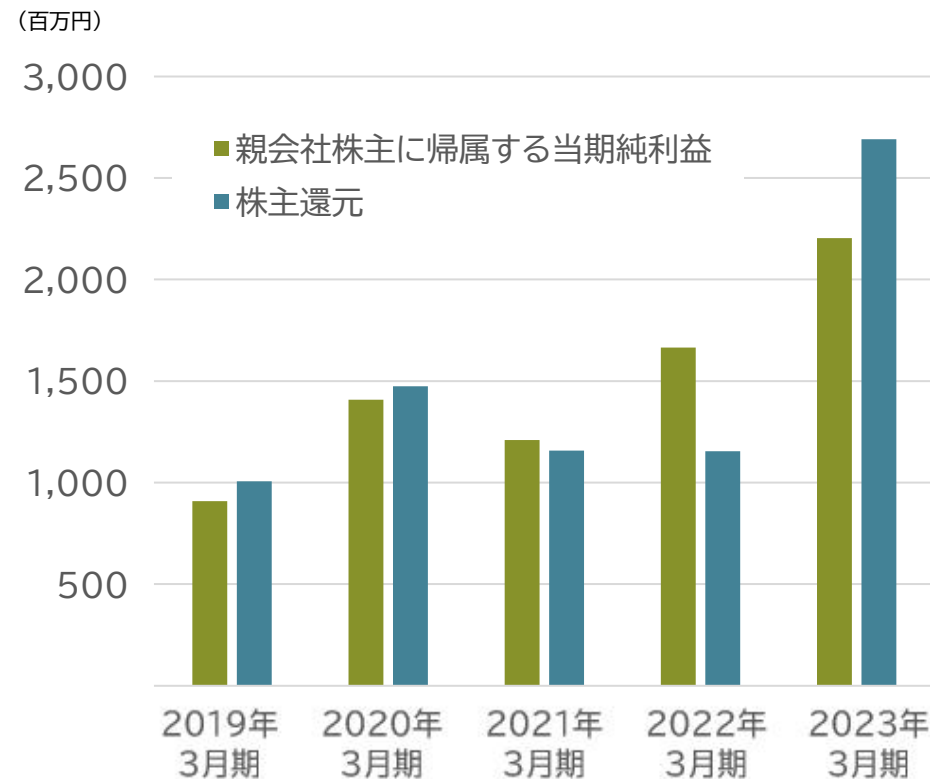
ROE推移



### ROE改善方針

- コンサルティング事業×投資事業による利益成長
- 配当+自社株買いによる積極的株主還元

株主還元※



※株主還元:配当額+自社株買い額(株式報酬信託への追加  
拠出額を含む)

# (参考) 2025年度〔2026年3月期〕 ありたい姿

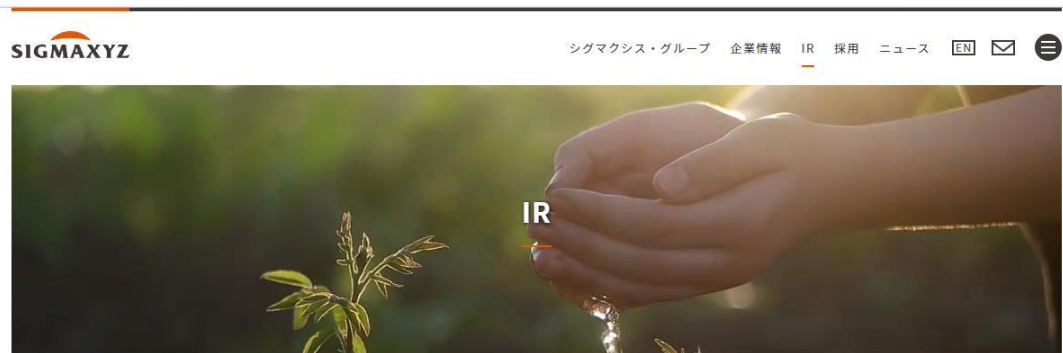
2022年8月公表

	<u>2026年3月期 ありたい姿</u>	<u>2023年3月期 連結業績予想</u>	<u>年平均成長率 (CAGR)</u>
連結売上高	250 億円	172 億円	13%
経常利益	70 億円	32 億円	30%
利益率	28%	19%	-
人員数	約800 名	約600 名	約10%

- 当社グループは、昨今の変化の激しい環境においては、毎年機動的に戦略を見直し、翌年度事業計画に反映していくことが望ましいと考えているため、中期経営計画を策定しておりません。
- 「ありたい姿」は、当社グループの中長期の成長イメージを株主・投資家の皆さまと共有する目的で、数年ごとに参考情報として公表しています。

# (参考)決算補足資料の音声解説

決算発表当日の18時に、本資料の音声解説を弊社ウェブサイトIRページに掲載いたします。



IR情報

[www.sigmxyz.com/ir/](http://www.sigmxyz.com/ir/)



## 本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマクシス・グループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクシス・ホールディングスは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクシス・ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: [www.sigmaxyz.com](http://www.sigmaxyz.com)  
問い合わせ先: [sigmaxyz\\_ir@sigmaxyz.com](mailto:sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com)

